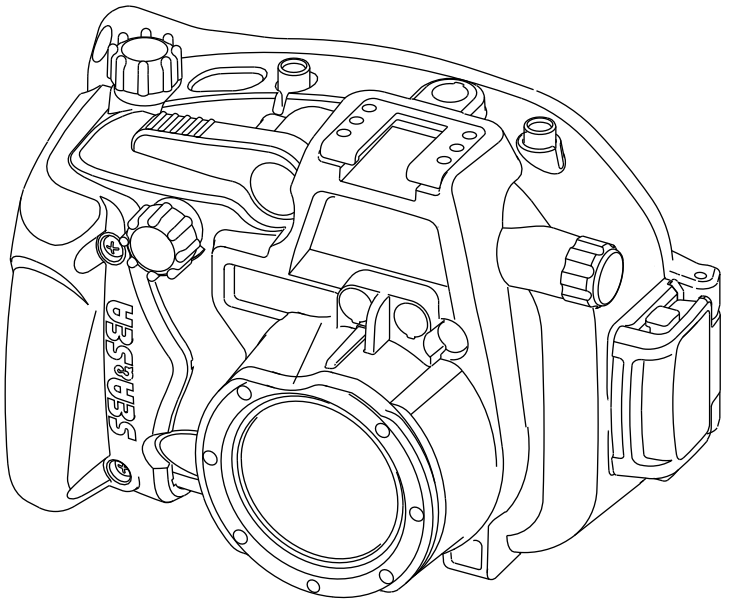
SEA&SEA

UNDERWATER DIGITAL CAMERA HOUSING

06128 DX-1G

取扱説明書



SEA&SEA
シーアンドシー・サンパック株式会社
〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-2-20
TEL. 048-256-2251
カスタマーサービスセンター
TEL. 048-255-8512
http://www.seaandsea.co.jp

0651-Z-02

DX-1G

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全上のご注意 ---------- 2
各部の名称 ---------- 5
付属品 ---------- 6
裏蓋の開け方 ---------- 6
1Gカメラのセット方法 ---------- 7
各部の操作 ---------- 8
遮光フード ---------- 9
ハンドストラップ ---------- 9
ディフューザー ---------- 10
シリカゲル（乾燥剤） ---------- 10
オプションアクセサリーの取り付け ---------- 11
ワイドコンバージョンレンズ（オプション）の取り付け ---------- 11
アクセサリーシュー ---------- 12
光ファイバーケーブル（オプション）の接続 ---------- 12
『PASSED』シールのお知らせ ---------- 13
お手入れと保管上のご注意 ---------- 13
仕様 ---------- 14

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

※ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠警告：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠注意：取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠警告

●本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

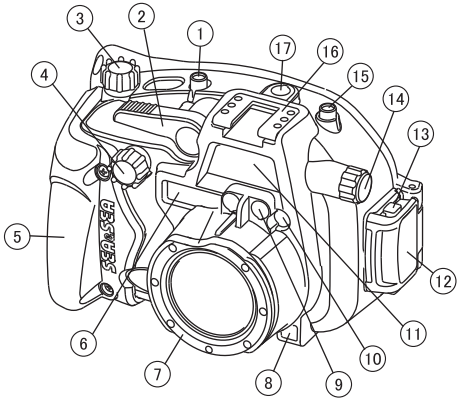
⚠注意

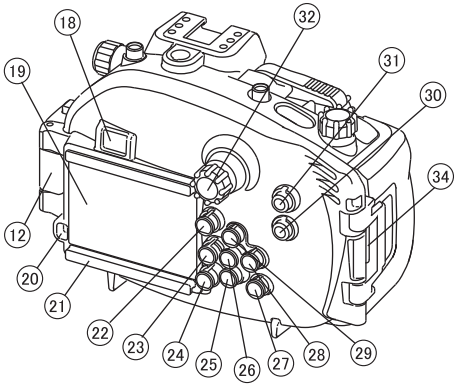
●ご使用の前に必ず本製品の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
●ご使用の前に必ずカメラ本体の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
●本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。
修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
●煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
●万一、浸水が起きた場合は、ただちにスイッチを切り、すぐに使用を中止してください。

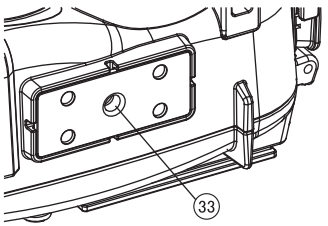
●浸水しているときは、内部の圧力が高くなっていることがあります。バッテリーキャップや本体ケースを開けるときに水が吹き出したり、バッテリーキャップや本体ケースが跳ね上がったりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
●本体ケースやバッテリーキャップの開閉は、火の気のない場所でおこなってください。
●本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（リアケース・バッテリーキャップを外す、ポート類を外す、裏蓋を半開きの状態にする、など）で運搬してください。
●水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
●本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
●ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
●本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
●カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラに傷がつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
●フロントポート・レンズなどのガラス面やフラッシュ・ファインダー窓に傷がつかないように十分にご注意ください。
●フロントポート・レンズなどのガラス面やフラッシュ・ファインダー窓は、傷がつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
●ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください。（詳しくは「お手入れと保管上のご注意」をご覧ください）
●薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

●高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。
また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
●水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
●本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
●本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
●仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
●Oリングの取り扱いにつきましては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

各部の名称





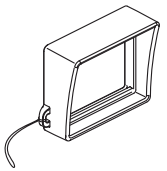


1　パワーボタン
2　シャッターレバー
3　モードダイヤル
4　アップダウンダイヤル
5　グリップ
6　AF窓
7　バヨネット
8　ワイドコンバーションレンズ
　ストラップフック
9　光ファイバーコネクタ×2
10 AF補助光窓
11 フラッシュ窓
12 バックル
13 バックルロックボタン
14 ディフューザーダイヤル
15 Fn.（ファンクション）ボタン
16 アクセサリーシュー
17 拡張ポート（光ファイバー接続）
18 オートフォーカス/フラッシュランプ窓
19 液晶モニター窓
20 遮光フードストラップフック
21 遮光フード取付溝
22 再生ボタン
23 ◀ /クイックレビューボタン
24 削除/セルフタイマーボタン
25 ▼ /マクロボタン
26 MENU/OKボタン
27 DISP. ボタン
28 ▶ /フラッシュボタン
29 ▲ /MODEボタン
30 W(広角)/(サムネイル表示)ボタン
31 T(望遠)/(拡大表示)ボタン
32 ADJ. ダイヤル
33 三脚ネジ穴
34 ハンドストラップフック

付属品

本製品をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。

●遮光フード

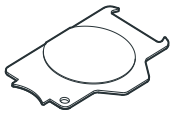


●シリカゲル（乾燥剤）（5個入）

●ハンドストラップ

●シリコングリス

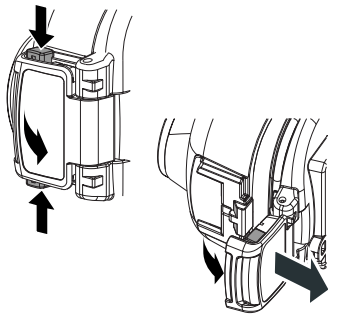
●Oリングリムーバー



●Oリングメンテナンスマニュアル

裏蓋の開け方

1. 本製品左側面の上下2箇所のバックルロックボタン（赤色）を、同時に押しながらバックルを後方に引き起こすと、裏蓋が持ち上がります。
2. 裏蓋を後方に引っぱり、裏蓋を開きます。

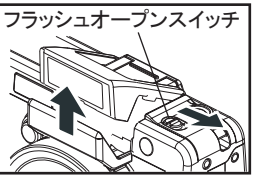


⚠注意

●裏蓋を開ける前に、本製品が完全に乾いているか、また汚れていないかを確認してください。汚れているときは必ず真水で洗い、乾いた布で水分を良く拭き取ってから開けてください。
●絶対にバックルロックボタン・バックルを水中で操作しないでください。
●水中での使用後に裏蓋を開けるときは、残った水滴や砂などが内部に入らないよう、十分にご注意ください。

1Gカメラのセット方法

●1Gカメラをセットする前に、必ずカメラのフラッシュオープンスイッチを操作してフラッシュカバーを上げ、レンズキャップを外してください。カメラの電源はOFFにしてください。



1. 図1のように1Gカメラをセットします。
2. ストラップの挟み込みや、OリングおよびOリング接触面にゴミや傷・変形などがないことを確認してから裏蓋を閉じ、バックルを前方に倒してください。(図2)
3. バックルを図3の矢印の方向にカチッと音がするまで押し込み、上下の赤いバックルロックボタンがバックルから飛び出していることを確認します。

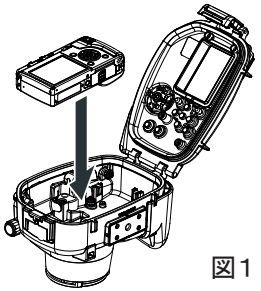


図1

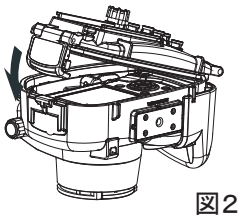


図2

⚠注意

●1Gカメラのリストストラップを挟み込んで浸水を起こす可能性があります。カメラをセットする際は、リストストラップを取り外してください。(図4)

●1Gカメラを取り付ける(取り外す)際は、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたまま取り付け・取り外しをおこなうと、カメラの突出したレンズ部分と本製品が干渉して、カメラの破損・故障の原因になります。

●1Gカメラが本製品に対して大きく傾いていないことを確認してください。

●1Gカメラのフラッシュカバーを上げずにカメラをセットした場合、フラッシュはご使用になれません。

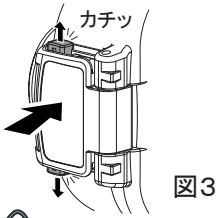


図3

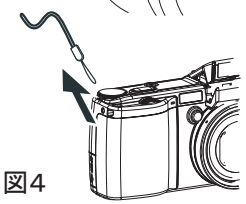


図4

各部の操作

《パワーボタン》
パワーボタンを押すと、1Gカメラの電源が入ります。電源が入った状態でパワーボタンを押すと、カメラの電源が切れます。

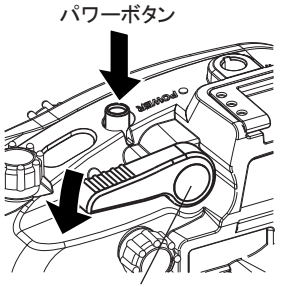
《シャッターレバー》
シャッターレバーを押し下げて、1Gカメラのシャッターを操作します。

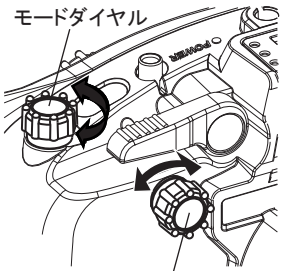
《モードダイヤル》
モードダイヤルを回して、撮影モードの切替え操作をします。
モードダイヤルの位置は、1Gカメラ液晶画面上部中央のマークで確認できます。

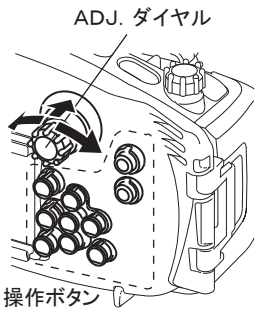
《アップダウンダイヤル》
アップダウンダイヤルを回すことにより、1Gカメラのアップダウンダイヤルが回転します。
アップダウンダイヤルを使用することで、絞り値、設定値等を容易に変更できます。

《ADJ. ダイヤル》
ダイヤルを押す・左右に動かすことで、1GカメラのADJ. レバーを操作します。

《操作ボタン》
各操作ボタンを押すことにより、1Gカメラの各機能を水中で操作できます。







⚠注意

●各ボタンの操作方法は、1Gカメラの取扱説明書をご覧ください。

遮光フード

1. 右図のように遮光フード用ストラップを本製品に通します。(図5)
2. 付属の遮光フードを本製品の遮光フード取付溝にはめ込みます。(図6)

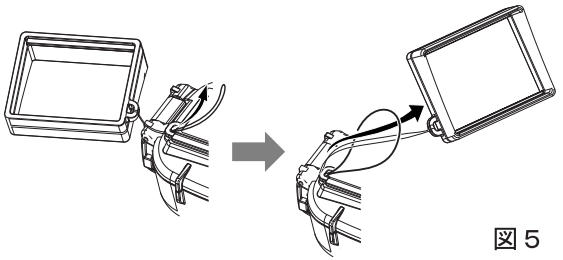


図５

⚠注意

●裏蓋を閉じるときは、遮光フードのストラップを挟み込まないよう、ご注意ください。
●遮光フードをつかんで本製品を持ち上げないでください。遮光フードが外れ、本製品が落下して破損する恐れがあります。

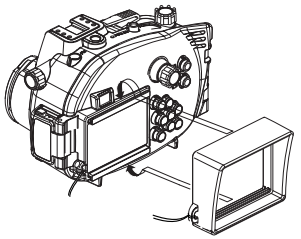
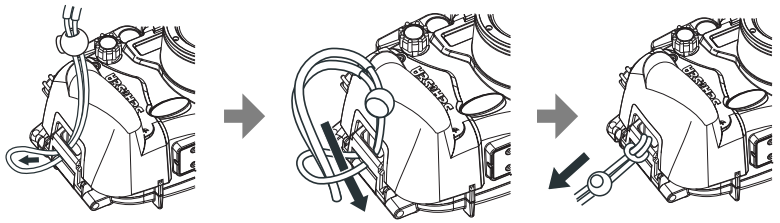


図６

ハンドストラップ

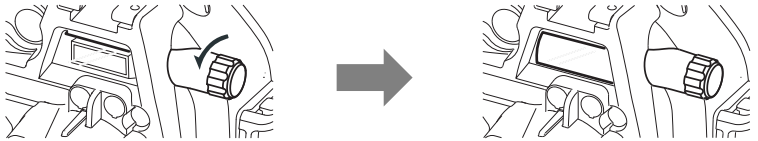
《ハンドストラップの取り付け方》
下図のように、ハンドストラップを本製品の前面よりハンドストラップフックに差し入れ、輪に緩みがなくなるまで引いてください。



●オプションのアクセサリー(ワイドコンバージョンレンズ・ステー・アーム・ストロボ・ライト等)をご使用の場合は、陸上でハンドストラップを使用しないでください。アクセサリーの重みでハンドストラップフックが破損し、思わぬケガや本製品・アクセサリーの破損・紛失の恐れがあります。

ディフューザー

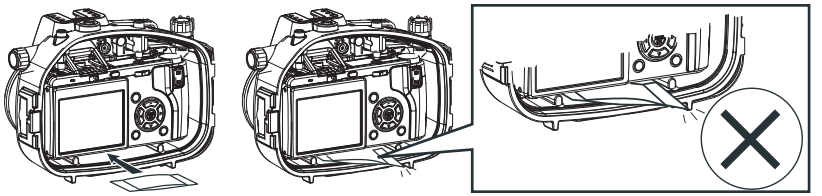
ディフューザーダイヤルを前方方向に回すと、フラッシュ窓内部にディフューザーがセットされます。ディフューザーを使用することにより、1Gカメラの内蔵フラッシュ光を拡散・減少させることができます。
ディフューザーは、内蔵フラッシュ光が正面から照射されることが原因で発生する、浮遊物等の写り込みを減少させたい場合などに有効です。



シリカゲル(乾燥剤)

気温と水温の差が大きい、または長時間の撮影等でカメラが熱を持った場合などに、本製品内部で発生する結露により、本製品のレンズ内側が曇ることがあります。結露を軽減するために、付属のシリカゲルを下記のようにお使いください。

《シリカゲルの使用方法》
1. 本製品に1Gカメラをセットします。
2. 本製品の図の場所にシリカゲルを置き、裏蓋を閉じます。



⚠注意

●シリカゲルがOリングの接触面にはみ出していないことを必ず確認してください。
●裏蓋を閉じるときは、シリカゲルを挟み込まないよう、ご注意ください。

オプションアクセサリーの取り付け

本製品にはオプションの当社製アクセサリーを容易に取り付けることができます。本製品と各種アクセサリーを組合わせて使用することで、より表現豊かな水中撮影がお楽しみいただけます。

●レンズ・ストロボ・ライトなど、アクセサリーの耐圧深度は製品によって異なります。必ず各種アクセサリーの耐圧深度をご確認の上ご使用ください。

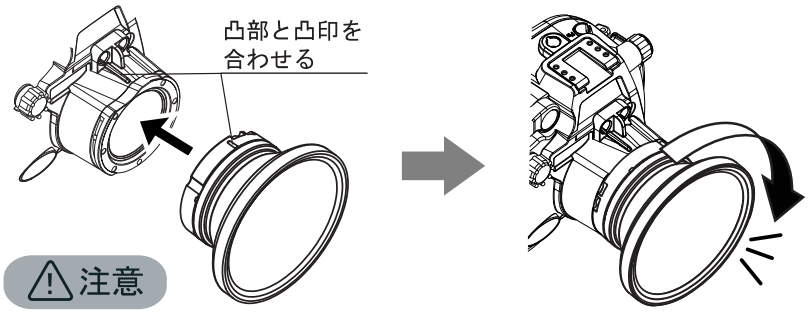
●オプションアクセサリーをご使用の際は、必ず各アクセサリーの取扱説明書をお読みください。

ワイドコンバージョンレンズ（オプション）の取り付け

本製品にオプションのDX-1G用ワイドコンバージョンレンズ（#52116）を取り付けることにより、撮影画角が16mm相当（0．65倍：地上値）に広がります。

《ワイドコンバージョンレンズの取り付け方》

1. 本製品のレンズ上部の凸部とレンズのバヨネット部の凸印を合わせて、レンズを本製品に押しつけます。
2. レンズをクリック感があるまで、時計方向に回します。



⚠注意

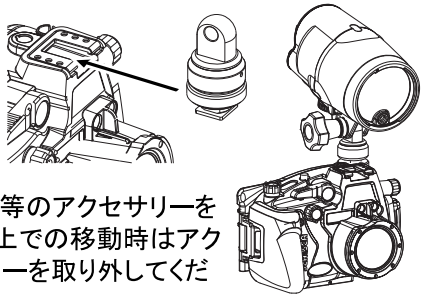
●レンズをご使用の際は水中で一度ゆるめるか、または軽く振り、レンズと本製品の間の空気を抜いてください。

●DX-1G用ワイドコンバージョンレンズを使用して撮影した場合、絞り値の設定・撮影状況等により、画面の四隅が暗くなる（ケラレる）場合があります。

アクセサリーシュー

オプションのミニシューアーム（#29511）もしくはホットシューアーム（#29501）を使用して、本製品のアクセサリーシューに当社製外部ストロボ・ライト等を取り付けることができます。

⚠注意

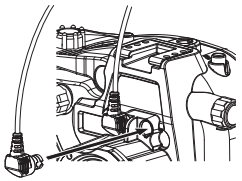


●アクセサリーシューに取り付け可能なアクセサリーの重量は、約750g（YS-90AUTO相当）までです。

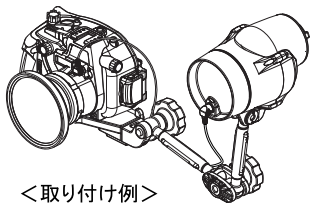
●アクセサリーシューにストロボ等のアクセサリーを取り付けて使用する場合、陸上での移動時はアクセサリーシューからアクセサリーを取り外してください。

光ファイバーケーブル（オプション）の接続

本製品には、オプションの当社製光ファイバーケーブルを接続するための光ファイバーコネクタ（2箇所）が装備されています。外部ストロボをご使用の際に、光ファイバーケーブルを図のように止まるまで差し込んで接続してください。

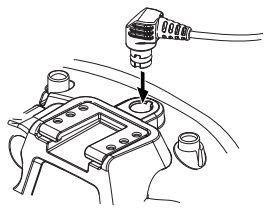


外部ストロボは、ワイド撮影等で内蔵フラッシュの光量が不足する場合や逆光撮影時、浮遊物の写り込みを防ぐために横方向からストロボを照射する場合、マクロ撮影時に内蔵フラッシュ光によって生じるレンズ部分の影を消す場合などに有効です。



＜取り付け例＞

《拡張ポート》
オプションアクセサリー（発売時期未定）用光ファイバーケーブルを接続します。

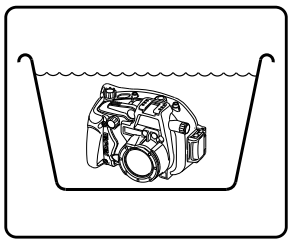


『PASSED』シールのお知らせ

この【耐圧検査合格シール】(PASSEDシール)が貼られている製品は、シーアンドシー・サンパック株式会社耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。

お手入れと保管上のご注意

⚠注意



●薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
●ご使用になった後は、防水されている状態で、図のように充分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分(レバーやボタンなど)は動かしながら洗ってください。ハウジングを洗うときは、バックル・バックルロックボタンを絶対に操作しないでください。
●充分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に充分に浸けてください。
●水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
●熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
●長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
●ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
●ご使用になった後はバッテリー/電池を取り出して保管してください。

●ご使用になった後は、カメラを本製品から取り出してください。カメラを取り出すときは、本製品の水分をよく拭き取り、水滴が内部に落ちないようにご注意ください。万一、内部に水滴が落ちたときは、水分をよく拭き取ってください。
●ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
●製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年間経ちましたら、もしくは長期間の保管の後にお使いになる場合には、オーバーホールにお出しになることをおすすめします。(有料)

仕様

【操作部】 パワーボタン、シャッターレバー、モードダイヤル、アップダウンダイヤル、ディフューザーダイヤル、Fn.(ファンクション)ボタン、再生ボタン、◀/クイックレビューボタン、削除/セルフタイマーボタン、▼/マクロボタン、MENU/OKボタン、▲/MODEボタン、▶/フラッシュボタン、DISP. ボタン、W(広角)/(サムネイル表示)ボタン、T(望遠)/(拡大表示)ボタン、ADJ. ダイヤル
【本体材質】 ポリカーボネート
【最大寸法】 幅 158×高さ 109×奥行 109mm
【質量】 約510g(ストラップ含む)
【水中質量】 約−110g
【耐圧深度】 55m
【付属品】 遮光フード、シリカゲル(乾燥剤)、ハンドストラップ、シリコングリス、Oリングリムーバー、Oリングメンテナンスマニュアル、取扱説明書

※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。